

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

### 課題名：胎児胎便性腹膜炎が疑われた児の出生前所見と転帰の検討

#### 1. 研究の対象

2008 年 1 月～2023 年 12 月に当院で出産された方のうち、胎児胎便性腹膜炎を疑われていた方とその児

#### 2. 研究期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 4 月 1 日

提供開始(予定)日：該当なし

#### 4. 研究目的

胎便性腹膜炎 (Meconium peritonitis : MP) は胎児の消化管が穿孔することによる化学的な炎症反応による腹膜炎です。消化管穿孔を起こす原因は、腸管閉鎖など、いろいろな疾患がありますが、穿孔により腹水が出現したり、炎症を起こすと腸管が周囲と癒着したりします。胎児の検査所見は多様であり、診断が難しいことがあります。また児は出生後に手術が必要となることが多いですが、手術が必要ない場合もあり、出生後の経過も多様で、その経過を胎児検査内容から予測することは難しいとされています。本研究では胎児の検査所見と児の出生後の経過を検討することにより、今後の周産期医療を発展させることを目的としています。

#### 5. 研究方法

妊娠中に胎児に MP を疑われた方とその児の診療録を後方視的に調査し、胎児 MP を疑う検査所見と胎児の経過、妊娠・分娩経過、児の出生後経過を検討します。

#### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療記録、超音波検査データ、血液検査データ、児の検査（血液検査、超音波検査、レントゲン検査、造影検査など）結果、児の手術記録 等

#### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

#### 8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

#### 9. 研究組織

本学単独研究

#### 10. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反なし

### 1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

### 1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学 医学医療系 産科婦人科学 講師 眞弓みゆき  
住所：茨城県つくば市天王台 1-1-1  
連絡先：電話番号(緊急連絡先)：029-853-3073（平日 9:00～17:00）

当院の研究責任者：筑波大学 医学医療系 産科婦人科学 講師 眞弓みゆき